全国学力･学習状況調査の結果について

４月に６年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果が出ましたのでお伝えします。

国語・算数ともに、正答率が全国平均を上回っていました。

全国平均より大きく正答率が高かった設問は以下の通りです。

	国語（%）	算数（%）
本校	71	69
全国との差	+3.8	+6.5
神奈川県	66	63
全国	67.2	62.5

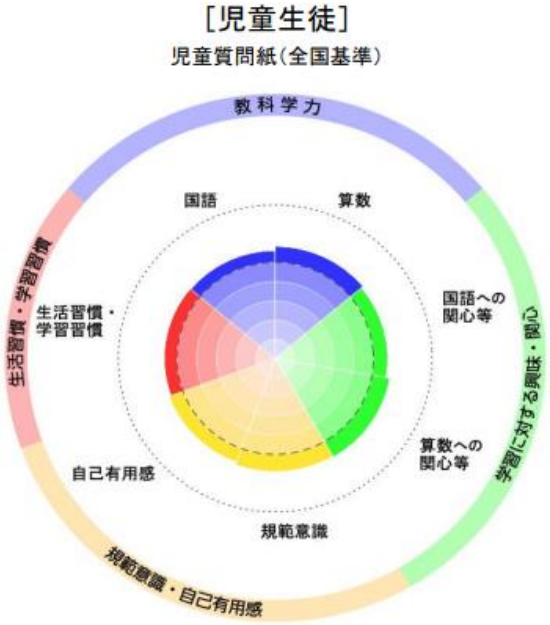
＜国語＞

・記述式の設問（全３問）が 7.5 ポイント高い。

・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」が、14.1 ポイント高い。

・「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」が２問あり、それぞれ 9.1 ポイント、7.1 ポイント高い。

・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」が 8.2 ポイント高い。



＜算数＞

・記述式の設問（全４問）が 8.1 ポイント高い。

・「正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」が 13.7 ポイント高い。

・「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる」が 12.0 ポイント高い。

・「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる」が 9.6 ポイント高い。

上記のように、全国の正答率を大きく上回っているものもありますが、一部の設問で下回っているものもありました。 基礎基本の一層の定着を図り、学習で身に付けた力を自分のものとして発揮できるよう、今後の学習活動 を充実させていきます。